

エネルギー工学連携研究センター

[地球環境とエネルギー問題]

Collaborative Research Center for Energy Engineering (CEE)

<http://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/>

エネルギー工学連携研究センターの目的

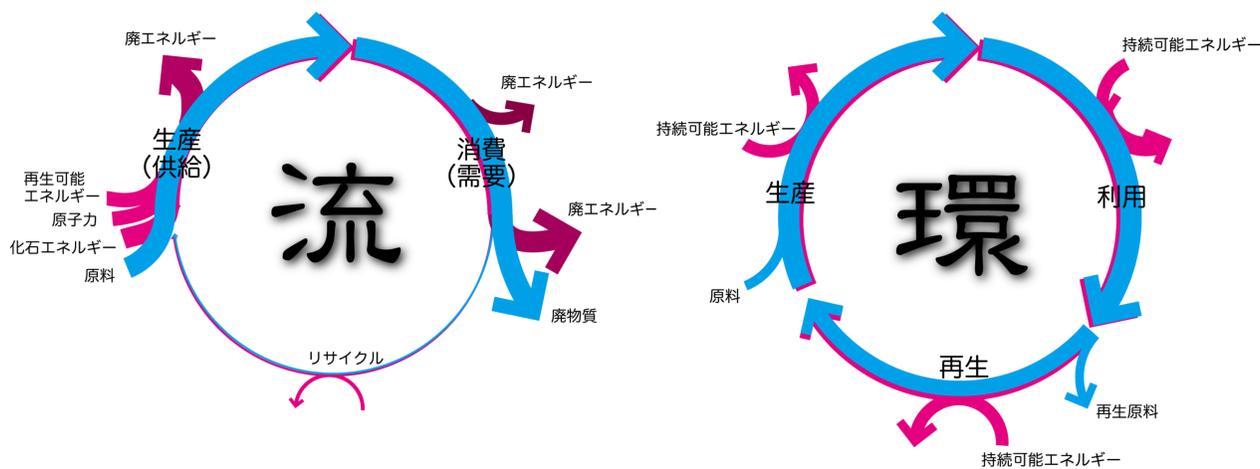
エネルギー工学連携研究センターは、以下を目的として生産技術研究所と工学系研究科により共同で2008年1月に設立されました。

1. 東京大学におけるエネルギー・環境技術に関する工学分野の国際的連携拠点形成
2. エネルギーの高度有効利用技術の開発
3. エネルギー・環境工学の学問体系の構築
4. サステイナブルな産業・社会の構築
5. 広範囲に広がるエネルギー分野に対して高度な見識を有し、革新的エネルギー技術開発を担う人材の育成

研究活動

従来のエネルギー・物質の需給構造においては、利用後の物質の大半は、再生されることなく、廃棄されています。この生産、消費、そして廃棄に向かう一方向の「流れ」の構造は、既存の生産品の設計、生産・流通インフラ、利用形態などに組み込まれており、「再生」を非効率かつ困難なものとし、持続性が乏しい状態にあります。エネルギーの安定供給、地球環境問題の解決、そして社会経済活動の維持向上のためには、エネルギーの過半を占める炭素資源や、様々なハイテク製品に不可欠なレアメタルなどに代表される金属資源等の循環を抜本的に見直す必要があります。また、持続性の確保のためには、持続可能なエネルギー源の最大活用が求められます。そして、物質とエネルギー循環の究極的な姿を目指した戦略を描くことが重要となります。

本センターでは、メンバー共通のテーマとして、この持続可能な産業・社会基盤の確立に向け、エネルギーと物質を統合して取り扱い、従来の生産から利用に至る一方向の「流れ」に対して、再生を強化し循環させる「環」の実現に向けて、研究を行っています。



ミッションとセンター組織・研究グループ

